

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機（338））
2. 日 時：令和2年6月23日 13時35分～15時00分
3. 場 所：原子力規制庁 9階A会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

名倉安全管理調査官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、

服部主任安全審査官※、日南川技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

石田技術計画専門職

事業者：

中国電力株式会社 山田執行役員 電源事業本部 部長（電源土木） 他
11名 ※

5. 要旨

- (1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号炉の設置許可基準規則等への適合性のうち、「5条 津波による損傷の防止」について、6月16日及び6月19日提出資料に基づき説明があった。
- (2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【防波壁の設計方針について】

- 令和2年5月28日のヒアリングで説明を求めた「鋼管杭の支持地盤が岩盤の場合は根入れが不要な設計とすること」及び「防波壁（鋼管杭式逆T擁壁）の設計条件による杭の鉛直載荷試験の実現可能性」については、説明不足の項目があるため、杭先端部の水平力に対する支持性能の観点も含め再度説明すること。

- (3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

関係資料：なし